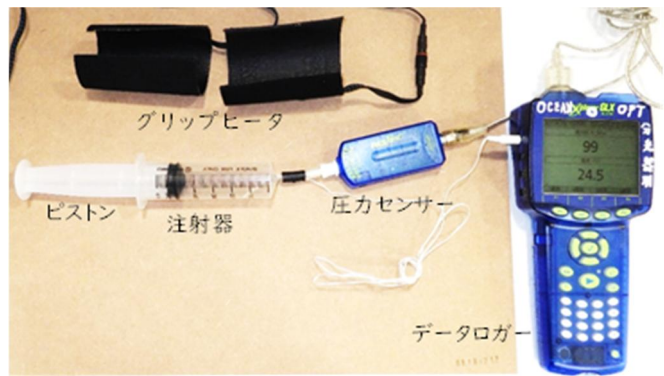


目的 容器に密閉した 30mL の空気を、温度を室温に一定に保ち、圧縮したり、膨張させたりして、気体の圧力と体積の関係をグラフ化する。

装置 60mL プラスチック製注射器、温度センサ入りゴム管、圧力センサ、データロガーGLX、AC アダプタ
方法

1. 圧力センサーを向きに注意しながらデータロガーGLX に接続する。データロガーに AC アダプターを付ける。(温度センサーミニプラグもデータロガーの側面に差し込む)
2. 気体の体積が 30mL になっていることを確認する。(ずれていたら温度センサ入りゴム管を一度抜いて調節して元に戻す)
3. データロガーの【ホーム】ボタンを押し、【<】【>】キーで【デジタル】を選ぶ。・・・圧力が kPa 単位で表示される。
4. 注射器のシリンダーをゆっくり動かして(力がいらぬ) 25mL,20mL,15mL,35mL,40mL,45mL にしたときの圧力を記録する。温度があまり変化しないように注視する。



結果

V 体積 mL	15	20	25	30	35	40	45
p 圧力 kPa							

処理 記録した表をグラフ化する。

